

第2節 学校教育課

〔総括概要〕

本年度は、新市「まちづくりの基本方針・3」に基づき、学校教育担当及び保健給食担当において、人生の礎となる「生きる力」を身につけた子どもたちをしっかりと育てることができるよう、各種事務事業を実施した。

学校教育においては、未来を担う栃木市の子どもとして「自分のよさをのびのびと発揮し、自らの意志で自らの人生をいきいきと切り拓く力」（生きる力）を身につけた子どもの育成を目指した。

教職員の指導力の向上として、教育研究所と連携し、所長の宇都宮大学松本敏教授を中心に、各校の学校課題の研究・指導や教職員研修を充実させ、教育講演会や教育研究発表会を行った。

また、教育支援の充実として、専門的な知識を持った学校教育支援専門員や臨床心理士、指導主事による学校訪問や保護者との相談、いじめ等の問題行動に対する対応、指導体制への助言、学校と地域の連携支援等を行った。

教育環境の整備としては、就学援助事務及び教科書無償給与事務、新学習指導要領対応の理科教育備品整備等を行った。

さらに、各学校の特別な支援を必要とする児童生徒への対応として、学習や生活指導の支援を行う学校生活支援員65人（特別支援教育支援員55人、学力向上支援員6人、通級教室指導員3人、日本語指導員1人）を配置した。

キャリア（進路）指導については、小学校の校外学習等や中学校の職場体験学習等を通して、勤労の大切さや尊さを学ぶ教育を展開し、児童生徒一人ひとりの将来の生き方を考える力の育成を図った。

学校保健については、心身共に健康な児童生徒の育成を目指し、各種健康診断を実施した。

心臓検診、腎臓検診では検査の結果、有所見者に対して各専門医による判定会を開催し、学校生活管理指導表により事後の管理指導を行った。

むし歯予防事業では、歯科検診及び「むし歯ゼロ学校巡回指導」を実施し、児童生徒に対して歯・口腔衛生の正しい知識と疾病予防の指導を行った。

そのほか、結核健診、就学時健診、教職員の生活習慣病検診等の事業を実施した。

また、学校薬剤師による飲料水及びプールの水質、照度、一・二酸化炭素等の定期検査により学校の保健環境衛生の向上に努めた。

学校給食については、児童生徒が正しい食習慣を身に付け、自己の健康保持増進を図ることを目指した。

食事内容については、献立の多様化や地産地消の拡大を図るなどして、安全で安心な、子どもたちに喜ばれる学校給食の提供に努めた。

また、食中毒を未然に防止するため、調理従事者を対象に衛生教育研修を実施するとともに、施設設備の改善充実に努めるなどして、衛生管理の徹底を図った。

さらに、栄養教諭等による食に関する指導についても、研究を推進した。

学校教育担当

1 学務に関する事業

(1) 教職員の人事事務(県費負担職員)

年度末における完退者及び定期異動に伴う転退者、転採者、転勤者あるいは新採者について、それに関する書類作成、辞令交付式の開催、また、年度途中における産育休者、傷休者等についてその休暇承認や補充者採用の内申等を行った。

(単位：人)

完退者	転退者	転勤者	転採者	新採者
33	53	91	39	34
傷休者	休職者	介休者	産休者	育休者
12	1	1	17	21

(2) 教職員の服務・管理に関する事務(県費負担職員)

- ・年度末教職員人事異動に伴う学校管理事務説明会
- ・人事異動に伴う事務
- ・学級編制に関する事務
- ・学校事故に関する事務
- ・受験届に関する事務
- ・校長選考試験に関する事務
- ・教頭、主幹教諭選考試験に関する事務
- ・教職員評価制度に関する事務
- ・表彰に関する事務
- ・公務災害に関する事務

(3) 教職員給与内申発令関係事務

教職員の昇給の時期は、4月1日であり、その約1か月前に届いた定期昇給昇格内申書の内容について昇給予定者で記載漏れはないか、昇給延伸該当者で昇給として記載されていないか等の点検を行った後、県教育委員会に内申を行った。

(4) 教職員団体に関する事務

地方公務員法及び職員団体の登録に関する条例・規則に基づいた教職員の団体(栃教協)との研修事業、各種研修等に係る補助金、委託料に関する事務を行った。

(5) 児童生徒の就学に関する事務

小中学校児童生徒就学状況

(単位：人)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	児童数	学級数	生徒数	学級数
23年5月1日	7,519	292	3,710	140
24年5月1日	7,717	315	3,913	148
比較	198	23	203	8

(6) 要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業

経済的理由により就学困難な児童生徒に対し学用品費等を支給し、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施を図った。

	対象者(人)	支給額(円)
小学校	190	10,230,332

中学校	151	13,634,333
計	341	23,864,665

(7) 特別支援教育就学奨励費補助事業

市立小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、必要な学用品費等の支給を行った。

	対象者（人）	支給額（円）
小学校	38	1,260,539
中学校	24	1,116,855
計	62	2,377,394

(8) 遠距離通学児童生徒援助事業

遠距離通学児童生徒通学費補助金の交付状況

小学校 4km以上 中学校 6km以上

	対象者（人）	支給額（円）
皆川城東小	6	120,000
寺尾中央小	9	97,200
計	15	217,200

(9) 学校教育設備整備費等（理科教育等設備整備費）補助事業

学校教育設備整備費等補助金により、小学校27校、中学校12校の整備を行った。

	整備額（円）
小学校	2,591,387
中学校	1,011,663
計	3,603,050

(10) 臨海自然教室実施事業

とちぎ海浜自然の家での集団宿泊生活を通じて、学校教育活動を行う臨海自然教室を実施した。

実施学校名	参加数(人)	実施期間	経費(円)
栃木中央小	97	11月26日(月)～11月28日(水)	261,450
栃木第三小	82	11月28日(水)～11月30日(金)	261,450
栃木第四小	40	11月19日(月)～11月21日(水)	87,150
栃木第五小	91	11月26日(月)～11月28日(水)	261,450
南小	57	11月26日(月)～11月28日(水)	174,300
大宮北小	132	12月3日(月)～12月5日(水)	348,600
皆川城東小	35	12月5日(水)～12月7日(金)	87,150
吹上小	60	12月3日(月)～12月5日(水)	174,300
千塚小	44	12月5日(水)～12月7日(金)	174,300
寺尾中央小	31	11月28日(水)～11月30日(金)	87,150
寺尾南小	8	11月28日(水)～11月30日(金)	87,150
国府南小	20	11月26日(月)～11月28日(水)	87,150
国府北小	51	12月3日(月)～12月5日(水)	174,300
大平東小	63	11月19日(月)～11月21日(水)	174,300

大平西小	57	12月5日(水)～12月7日(金)	174,300
大平中央小	111	11月28日(水)～11月30日(金)	261,450
藤岡小	39	12月3日(月)～12月5日(水)	87,150
部屋小	30	12月5日(水)～12月7日(金)	87,150
赤麻小	35	11月19日(月)～11月21日(水)	87,150
三鴨小	30	11月26日(月)～11月28日(水)	87,150
家中小	38	11月19日(月)～11月21日(水)	87,150
赤津小	23	12月5日(水)～12月7日(金)	87,150
西方小	63	11月28日(水)～11月30日(金)	174,300
真名子小	10	12月3日(月)～12月5日(水)	87,150
計	1,247	—	3,660,300

2 指導に関する事業

(1) 学校訪問指導

学校運営、学習指導、生徒指導、人権教育等に関して指導した。

- ・共同訪問 国府北小、大平中央小、三鴨小、西方小、真名子小、栃木南中、都賀中、西方中
- ・研究学校 栃木中央小（環境教育推進学校）、栃木三小・栃木東中（市指定人権教育研究学校）、大宮南小・大宮北小・国府南小・国府北小・東陽中（市指定外国語教育推進学校）、皆川城東小・皆川中（市指定小中一貫教育研究学校）、栃西中学区・寺尾中学区・大平南中学区、藤二中学区（市指定姉妹校化推進学校）、千塚小・大平南小・三鴨小・赤津小（市指定放課後教室研究学校）、大平東小・大平西小・大平中（市指定学力向上研究学校）、国府北小（市指定セカンドステップ研究校）

・学校訪問実施状況

No	学校名	各教科等	訪問日	備考
1	栃木中央小	国社算理生特支	6月22日(金)	公開授業研究会
2	栃木中央小	国社算理生特支	10月26日(金)	算数3年目研修
3	栃木三小	特支(図工)	6月7日(木)	特別支援訪問
4	栃木三小	道徳・国語	6月28日(木)	国語3年目研修
5	栃木三小	生活・社会	11月8日(木)	研究校訪問
6	栃木三小	人権教育(講話)	11月2日(金)	研究校訪問
7	栃木四小	理科	6月26日(火)	
8	栃木四小	生活・理科	11月2日(金)	
9	栃木五小	国語	6月20日(水)	
10	栃木五小	特別支援(生活単元)	6月26日(火)	特別支援訪問
11	栃木五小	国語	11月2日(金)	3年目研修
12	南小	国語(講話)	8月9日(木)	

13	南小	国語 2 授業	11 月 14 日 (水)	
14	大宮南小	国語・算数	6 月 20 日 (水)	研究校訪問
15	大宮南小	学活・外国語	11 月 28 日 (水)	
16	大宮北小	外国語活動	6 月 27 日 (水)	
17	大宮北小	外国語活動	9 月 19 日 (水)	
18	大宮北小	算数・社会	10 月 11 日 (木)	3 年目研修
19	大宮北小	外国語活動	11 月 21 日 (水)	
20	皆川城東小	研修会	5 月 31 日 (木)	研究校訪問
21	皆川城東小	交流事業・研究授業	6 月 27 日 (水)	研究校訪問
22	皆川城東小	算数	10 月 3 日 (水)	研究校訪問
23	皆川城東小	算数	11 月 7 日 (水)	研究校訪問
24	皆川城東小	算数	1 月 11 日 (金)	研究校訪問
25	皆川城東小	研修会	2 月 6 日 (水)	
26	吹上小	国語	9 月 26 日 (水)	
27	吹上小	国語	10 月 26 日 (金)	3 年目研修
28	吹上小	国語	11 月 16 日 (金)	
29	千塚小	国語	10 月 10 日 (水)	3 年目研修
30	寺尾中央小	算数	6 月 27 日 (水)	
31	寺尾中央小	理科・算数	10 月 3 日 (水)	
32	寺尾南小	言語活動	6 月 13 日 (水)	
33	寺尾南小	言語活動	10 月 24 日 (水)	
34	国府南小	外国語・算数	6 月 15 日 (金)	
35	国府南小	算数	9 月 24 日 (月)	
36	国府北小	算数	6 月 20 日 (水)	研究校訪問
37	国府北小	特別支援 (生活单元)	7 月 3 日 (火)	特別支援訪問
38	国府北小	算数	10 月 17 日 (水)	3 年目研修
39	大平東小	国語	10 月 17 日 (水)	3 年目研修
40	大平南小	特別支援 (国語)	6 月 26 日 (火)	特別支援訪問
41	大平南小	算数	6 月 27 日 (水)	研究校訪問
42	大平南小	算数	10 月 24 日 (水)	3 年目研修
43	大平西小	算数	10 月 24 日 (水)	3 年目研修
44	大平西小	算数	7 月 4 日 (水)	研究校訪問
45	大平西小	国語	11 月 8 日 (木)	研究校訪問
46	大平西小	特別支援 (国・生)	12 月 12 日 (水)	特別支援訪問
47	大平中央小	学活・道徳	6 月 27 日 (水)	

48	大平中央小	国語・算数	10月31日(水)	
49	藤岡小	算数	10月3日(水)	
50	藤岡小	算数	11月7日(水)	
51	部屋小	社会・講話	6月29日(金)	
52	赤麻小	国語	6月20日(水)	3年目研修
53	赤麻小	国語	11月7日(水)	
54	三鴨小	国語	10月10日(水)	研究校訪問
55	合戦場小	特別支援(国)	6月14日(木)	特別支援訪問
56	合戦場小	算数	9月13日(木)	3年目研修
57	合戦場小	理科	11月21日(水)	
58	家中小	国語	6月25日(月)	
59	家中小	特別支援(算)	10月15日(月)	特別支援訪問
60	赤津小	特別支援(国)	6月14日(木)	特別支援訪問
61	赤津小	国語	6月29日(金)	研究校訪問
62	赤津小	国語	11月21日(水)	研究校訪問
63	西方小	国語(講話)	5月16日(水)	
64	西方小	国語(指導案検討)	6月6日(水)	
65	西方小	国語	6月27日(水)	
66	西方小	国語(指導案検討)	8月9日(木)	
67	西方小	国語	11月7日(水)	
68	真名子小	外国語活動	6月22日(金)	
69	真名子小	外国語活動	11月16日(金)	
70	真名子小	外国語活動	1月25日(金)	
71	栃木東中	美術	6月20日(水)	研究校訪問
72	栃木東中	道徳	9月25日(火)	研究校訪問
73	栃木東中	英語	10月11日(木)	研究校訪問
74	栃木東中	数学	11月30日(金)	研究校訪問
75	栃木西中	講話(評価)	5月30日(水)	
76	栃木西中	英・国・道・学	6月26日(火)	
77	栃木西中	社・保体・道	10月16日(火)	
78	栃木西中	数学・理科	11月13日(火)	
79	栃木南中	数学・英語	6月25日(月)	
80	東陽中	数学	6月28日(木)	
81	東陽中	理科	7月4日(水)	3年目研修
82	東陽中	英語	10月3日(水)	

83	東陽中	道徳	1月24日(木)	
84	皆川中	研修会	5月31日(木)	研究校訪問
85	皆川中	交流事業・研究授業	6月27日(水)	研究校訪問
86	皆川中	英語	9月26日(水)	研究校訪問
87	皆川中	英語	10月3日(水)	研究校訪問
88	皆川中	数学	11月7日(水)	研究校訪問
89	皆川中	理科	1月11日(金)	研究校訪問
90	皆川中	研修会	2月6日(水)	研究校訪問
91	吹上中	学活	9月18日(火)	
92	吹上中	英語	9月21日(金)	
93	寺尾中	保体	6月19日(火)	
94	寺尾中	英語	12月11日(火)	
95	寺尾中	道徳	2月6日(水)	
96	大平中	英語	11月9日(金)	研究校訪問
97	大平中	数学・学活	10月2日(火)	数学3年目研修
98	大平南中	国語・数学	10月15日(月)	
99	大平南中	社会・学活	10月17日(水)	
100	大平南中	道徳・英語	11月15日(木)	
101	大平南中	理科・特別支援	11月20日(火)	
102	藤岡一中	道徳	9月18日(火)	
103	藤岡一中	特別支援	9月25日(火)	
104	藤岡一中	英語	9月27日(木)	
105	藤岡二中	英語	6月8日(金)	
106	都賀中	数学・社会	9月21日(金)	
107	都賀中	英語	11月12日(月)	
108	西方中	英語	11月19日(月)	
109	西方中	数学	10月2日(火)	
110	西方中	社会	12月6日(木)	
111	国府北小	各教科・領域	10月31日(水)	共同訪問
112	大平中央小	各教科・領域	9月28日(金)	共同訪問
113	三鴨小	各教科・領域	5月31日(木)	共同訪問
114	西方小	各教科・領域	9月19日(水)	共同訪問
115	真名子小	各教科・領域	6月5日(火)	共同訪問
116	栃木南中	各教科・領域	11月15日(木)	共同訪問
117	都賀中	各教科・領域	5月29日(火)	共同訪問

118	西方中	各教科・領域	11月29日(木)	共同訪問
-----	-----	--------	-----------	------

・その他学校課題等についての訪問

学校課題 【別表1】学校課題・研究主題一覧表参照

(2) 教育研究発表会

教職員を対象に、日頃の教育実践研究の成果を発表し、資質の向上を図り、指導法の改善に努めた。

・実施日 1月29日(火)

・口頭発表者 6件

(小学校4件、中学校区1件、高等学校1件)

・紙上発表者 8件

(小学校5件、中学校1件、特別支援学校1件、不登校適応指導教室1件)

・参加者 市内小・中・高等学校の教員 138人

(3) 人権教育研修

小・中・高等学校間や人権擁護委員、スクールガードリーダー等の関係機関、さらには学校・家庭・地域との連携を図るため、教職員等を対象に学校人権教育研修会を開催し、児童生徒指導に必要な情報交換等を行った。

第1回栃木市人権教育研修会

・実施日 8月8日(水)

・講話Ⅰ「栃木県の人権教育推進について」

・講師 下都賀教育事務所学校支援課指導主事 高田 裕子氏

・講話Ⅱ「部落差別の現状と差別の解消に向けて」

・講師 部落解放同盟栃木県連合会事務局長 戸田 眞氏

・参加者 各小・中学校の人権教育主任

(4) 外国語指導助手学校派遣

小中学校の英語教育を充実させるため、外国語指導助手17人を各学校に派遣し、外国語を通したコミュニケーション力の育成に重点を置いた授業を展開した。

小中の学校ごとに訪問計画を立て、市内全小中学校へ、長期休業を除く月曜日から金曜日のほぼ毎日訪問した。

延べ訪問日数 (単位:日)

中学校	1,351
小学校	1,959
小中学校合計	3,310

(5) 特別支援教育関係事業

特別支援教育に関わる人材を育成し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導法を習得するため、研修会等を開催した。

ア 特別支援教育研修会

・実施回数 2回

・対象 特別支援教育コーディネーター 43人

特別支援学級担任等希望者 50人

イ 学校生活支援員研修会

- ・実施回数 3回
- ・対 象 全支援員

ウ ゆっくり学習会

- ・実施回数 5回
- ・対 象 幼稚園・保育園教員等 延べ95人
小学校・中学校教員等 延べ117人

エ 特別支援教育新任担当教員研修

オ 特別支援学級教室訪問支援

カ 臨床心理士や学校教育支援専門員による巡回訪問支援等

(6) 教科書無償給与事務

小中学校児童・生徒教科書給与事務 (単位：冊)

区 分		冊 数
小 学 校	前期用	50,358
	前期転学用	107
	後期用	20,439
	後期転学用	147
中 学 校	前期用	42,006
	前期転学用	12
	後期用	—
	後期転学用	85
合 計		113,154

(7) 教師用教科書及び指導書購入貸与事務

小中学校の教師用教科書及び指導書等を購入し貸与した。

区 分	冊数 (冊)	費用 (円)
教師用教科書 前後期用	285	96,271
教師用指導書 前後期用	234	2,130,660
合 計	519	2,226,931
中学校教師指導用教材 (ピクチャーカード・フラッシュカード・ 指導用CD)	66	6,912,774

(8) 立志式

14歳を迎える生徒たちは精神的にも肉体的にも、子どもから大人へ移り変わる時期である。この青春期にさしかかろうとする少年少女に対し、皆でその成長を祝い、併せて生徒一人ひとりに自立への自覚を促し、理想に向かって確かな歩みをさせる契機とするものとして「立志式」を開催した。

学 校 名	実施日	該当者数(人)
栃木東中	1月19日(土)	94

栃木西中	2月1日(金)	162
栃木南中	1月24日(木)	91
東陽中	1月31日(木)	207
皆川中	1月30日(水)	39
吹上中	2月3日(日)	86
寺尾中	1月25日(金)	35
大平中	2月7日(木)	104
大平南中	1月31日(木)	161
藤岡第一中	1月29日(火)	99
藤岡第二中	1月23日(水)	23
都賀中	2月3日(日)	129
西方中	2月8日(金)	68
計		1,298

(9) 幼・保・小連絡協議会

ア 代表者会議

イ 全体研修会(講話)

・参加者 幼稚園・保育園・小学校・特別支援学校教職員 計82人

ウ 幼保小教職員相互職場体験研修

区 分	参加者(人)	期間(日)
幼稚園・保育園から小学校へ	22	29
小学校から幼稚園・保育園へ	20	27

エ その他 地域ごと

・授業参観と授業研究会及び保育参観と意見交換

・教職員、子ども同士の交流 など

(10) 地域ぐるみ児童生徒指導

ア 13中学校区児童生徒指導連絡協議会

各中学校地区で教育講演会や健全育成推進活動を展開

・実施期間 6月～2月

イ 栃木市児童生徒指導研究会

異校種間の情報交換やスクールガードリーダー、人権擁護委員並びに保護司との合同研究会を開催

・実施期間 4月～3月

ウ 各部会

部会名	実施回数、実施日
中学校部会	毎月1回
小・中部会	5月25日(金)、7月5日(木)
小・中・高部会	12月3日(月)

(11) 適応指導教室運営に関する事務

学校教育指導員等が、不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対して、学校への復帰のための自立を促し、学校生活への適応を図るための指導・支援及び保護者に対する教育相談を行った。

・適応指導教室通級人数 31人（学校復帰人数24人）

（単位：件）

来所相談	1,003
電話相談	786
学校訪問	150
家庭訪問	120
合計	2,059件

保健給食担当

1 学校保健管理

(1) 結核健康診断（学校保健安全法施行規則に基づき4月～6月実施）

ア 小中学校

（単位：人）

区分	検診対象者	検診者数	検討対象者数	精密検査不要者	要精検
小学校	7,715	7,714	19	19	—
中学校	4,098	4,094	8	8	—
合計	11,813	11,808	27	27	—

※中学校には国学院中学も含む。

イ 教職員（全教職員 胸部レントゲン間接撮影）

（単位：人）

区分	教職員数	受診者	未受診者	未受診者理由	結核有所見者
小学校	652	638	14	妊娠中・妊娠疑い 20	—
中学校	369	359	10	傷病休暇（育休・休職含む）4	
計	1,021	997	24	24	—

(2) 小中学校腎臓検診（4月～6月）

一次・二次検査結果及び三次検査対象者

（単位：人）

区分	検査対象者	検査実施者	一次検査	二次検査	三次検査		
			有所見者	要精検者	新規対象者	継続管理者	計
小学校	7,716	7,712	240	77	80	112	192
中学校	3,913	3,889	210	69	71	108	179
合計	11,629	11,601	450	146	151	220	371

※三次検査 要精検率 3.2%

(3) 学校心臓検診（検診5月～6月、4年生のみ9月）

（単位：人）

区分	在籍者数	一次検診		二次検診		二次検診省略者数	精密検査 精検受診者数
		受診者数	一次有所見者	二次受診者数	要精検者数		
小学校一年生	1,205	1,205	82 (6.8%)	36	17 (1.4%)	46	33 (2.7%)
中学校一年生	1,329	1,329	124 (9.3%)	70	23 (1.7%)	54	46 (3.5%)
合計	2,534	2,534	206 (8.1%)	106	40 (1.6%)	100	79 (3.1%)
小学校四年生	1,340	1,340	56 (4.2%)				28 (2.1%)

※ () は有所見率

(4) むし歯ゼロ学校事業「学校巡回指導」

- ・実施期間 6月4日(月)～7月13日(金)までの19日間
- ・実施校 市内小学校27校
- ・参加者 児童1,129人
保護者多数(自由参加)
- ・実施内容 児童指導 歯科衛生士による講話、染めだし、歯みがき指導
保護者指導 児童指導の参観、学校歯科医・歯科衛生士による講話

(5) 定期健康診断(生活習慣病検診)

- ・実施時期 8月～10月
- ・対象 学校教職員(県職)

	受診者数(人)	要精検者数(人)	要精検率(%)
小学校	242 (72)	39 (10)	16.1 (13.9)
中学校	156 (42)	35 (2)	22.4 (4.8)
合計	398 (114)	74 (12)	18.6 (10.5)

※ () 内は胃部X線検査受診者再掲

※血圧、尿検査、血液検査、心電図検査、視力検査及び聴力検査は全員対象

(6) 就学時健康診断

- ・実施時期 9月～10月
- ・対象 平成18年4月2日～平成19年4月1日生の児童
- ・被検査者数 1,148人
- ・検査状況 (単位:人)

項目		人数	合計
栄養状態	栄養不良		—
	肥満傾向		4
脊椎異常のある者			1
胸郭異常のある者			3
視力0.7未満			93
眼	結膜炎		15

疾患	その他	20
耳鼻 咽頭	中耳炎	10
	扁桃腺肥大	6
疾患	その他	56
皮膚 疾患	伝染性	2
	その他	23
歯	むし歯なし	576
	〃 処置者	231
	〃 未処置者	393
その他歯疾病		6
口腔疾病及び異常		8
その他 疾病及 び異常	ぜんそく	97
	アレルギー	85
	心臓疾患	11
	腎臓疾患	4
	川崎病既往	13
	てんかん	4
	その他	50

(7) 出席停止

伝染病及び感染症による欠席児童生徒

(単位：人)

月 学校	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	計
小学校	94	95	85	44	56	47	57	120	708	582	181	2,069
中学校	36	21	18	10	11	15	7	78	314	128	25	663
合計	130	116	103	54	67	62	64	198	1,022	710	206	2,732

※8月は夏休みのため実績なし

(8) 日本スポーツ振興センター災害給付金給付状況

学校名	児童・生徒数(人)	給付件数(件)	初回発生件数(件)	給付額(円)
栃木中央小	541	44	22	451,502
栃木第三小	429	16	12	59,832
栃木第四小	177	24	14	106,908
栃木第五小	572	40	29	226,204
南 小	325	28	19	128,672
大宮南小	55	3	3	19,036
大宮北小	832	56	35	278,719

皆川城東小	193	13	8	74,022
吹上小	327	43	28	275,176
千塚小	181	7	5	42,888
寺尾中央小	94	10	5	30,484
寺尾南小	26	4	3	34,822
国府南小	53	8	6	27,980
国府北小	301	19	11	63,812
大平東小	318	21	16	109,368
大平南小	354	21	18	91,164
大平西小	366	31	23	158,164
大平中央小	703	50	32	511,962
藤岡小	260	32	21	173,908
部屋小	144	4	3	13,264
赤麻小	185	18	10	70,048
三鴨小	198	11	6	73,204
合戦場小	344	15	11	57,624
家中小	218	18	10	75,104
赤津小	163	12	9	63,148
西方小	301	17	10	80,372
真名子小	56	6	5	23,168
小学校計	7,716	571	374	3,320,555
栃木東中	309	30	16	257,824
栃木西中	496	66	38	390,489
栃木南中	321	73	44	630,167
東陽中	570	111	65	593,396
皆川中	115	10	9	50,268
吹上中	289	54	36	269,184
寺尾中	69	25	14	131,021
大平中	348	131	65	1,367,041
大平南中	481	169	66	1,493,327
藤岡第一中	306	50	34	383,270
藤岡第二中	71	19	13	114,028
都賀中	350	78	50	513,158
西方中	188	36	19	213,329

中学校計	3,913	852	469	6,406,502
合計	11,629	1,423	843	9,727,057

2 学校環境衛生管理

区分	検査日	検査項目	備考
飲料水 水質検査	5月8日(火)	理化学・細菌検査10項目	水道水、地下水
	12月10日(月)	理化学・細菌・重金属等 検査51項目	地下水 (地下水使用校)4校
飲料水 放射能検査	7月17日(火)	放射性ヨウ素1項目、 放射性セシウム2項目	地下水 (地下水使用校)5校
プール水水質検査 プール施設調査	6月13日(水)	水質6項目、施設安全管理調査	2点測定
	6月18日(月)	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	6月26日(火)	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	7月10日(火)	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	7月17日(火)	水質6項目、施設安全管理調査	〃
プール水 放射能検査	6月13日(水)	放射性ヨウ素1項目、 放射性セシウム2項目	小学校6校
照度検査	11月~12月	照度測定	
一・二酸化炭素検査	1月~3月	一・二酸化炭素濃度検査	

※ 地下水使用校の飲料水水質検査は毎月1回実施（1校は8月末から水道水使用）

3 学校給食実施状況

(1) 栃木地域

ア 学校給食栄養摂取状況

小学校は、ほぼ目標を満たしているが、中学校のカルシウム摂取量が不足している。今後これらの点を考慮して献立を作成し、目標量の摂取に努めたい。

区分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂 肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	660	20.0	22.0	350.0	3.0	140	0.40	0.50	23
小学校平均摂取栄養量	658	26.1	21.8	350	3.0	315	0.64	0.86	34
中学校栄養摂取目標量	850	28.0	25.98	420.0	4.0	210	0.60	0.60	33
中学校平均摂取栄養量	806	35.2	25.4	386	4.0	374	0.79	0.69	41

※ 小学校14校、中学校7校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	栃木中央小学校	栃木中央小	541	21	栄養職員1(1)	4	鉄筋コンクリート造	217
2	栃木第三小学校 給食共同調理場	栃木第三小	429	15	栄養職員1	委託	"	195
		栃木東中	309	12				
3	栃木第四小学校 給食共同調理場	栃木第四小	177	8	栄養職員1	4(1)	"	331
		栃木南中	321	13				
4	栃木第五小学校 給食共同調理場	栃木第五小	572	20	栄養職員1	委託	"	349
		栃木西中	496	18				
5	南小学校 給食共同調理場	南小	325	13	栄養職員1	委託	鉄骨造	145
		大宮南小	55	6				
6	大宮北小学校 給食共同調理場	大宮北小	832	26	栄養職員1	委託	"	175
		国府南小	53	6				
7	吹上小学校 給食共同調理場	吹上小	327	13	栄養教諭1	委託	"	155
		吹上中	289	11				
8	千塚小学校 給食共同調理場	千塚小	181	8	栄養教諭1	5(2)	鉄筋コンクリート造	310
		皆川城東小	193	8				
		皆川中	115	6				
9	寺尾中央小学校 給食共同調理場	寺尾中央小	94	6	栄養職員1	3(1)	"	252
		寺尾南小	26	5				
		寺尾中	69	4				
10	国府北小学校 給食共同調理場	国府北小	301	13	栄養職員1	委託	"	194
		東陽中	570	19				
計	10調理場	21校	6,275	251	10(1)	16(4)		

※()は臨時職員の内数

ウ 各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施 人員	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
栃木中央小	585	70	40,366	77	44,472	49	28,634	196	113,472
栃木第三小	465	70	32,276	77	35,151	49	22,593	196	90,020
栃木第四小	201	70	13,988	71	14,865	49	9,875	190	38,728
栃木第五小	614	70	42,476	77	45,224	49	30,285	196	117,985
南小	355	68	23,978	78	26,658	49	16,787	195	67,423
大宮南小	69	68	4,653	71	5,152	49	3,340	188	13,145
大宮北小	884	68	59,730	78	67,474	49	42,696	195	169,900
皆川城東小	209	69	14,330	78	15,702	49	10,081	196	40,113

吹上小	360	69	24,719	77	27,199	49	17,768	195	69,686
千塚小	205	69	13,917	77	15,520	49	10,155	195	39,592
寺尾中央小	113	69	7,796	78	8,566	49	5,667	196	22,029
寺尾南小	39	69	2,673	76	2,934	47	1,837	192	7,444
国府南小	68	68	4,704	78	5,157	49	3,351	195	13,212
国府北小	336	70	23,250	78	25,378	50	16,444	198	65,072
栃木東中	336	68	22,488	75	25,167	49	15,330	192	62,985
栃木西中	531	68	35,767	74	40,366	49	24,728	191	100,861
栃木南中	352	68	23,535	75	26,345	49	12,718	192	62,598
東陽中	603	67	40,162	76	45,131	50	25,283	193	110,576
皆川中	133	68	8,881	76	9,948	49	5,931	193	24,760
吹上中	315	66	20,789	76	23,798	49	14,489	191	59,076
寺尾中	85	66	6,562	76	6,410	49	4,059	191	17,031
合計	6,858	—	467,040	—	516,617	—	322,051	—	1,305,708

(2) 大平地域

ア 学校給食栄養摂取状況

小学校は、ほぼ目標を満たしているが、中学校でカルシウムが不足している。今後、これらの点に十分考慮し、引き続き目標量の摂取に努めたい。

区分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	660	20.0	22.0	350.0	3.0	140	0.40	0.50	23
小学校平均摂取栄養量	673	26.4	22.1	356	3.1	264	0.61	0.59	30
中学校栄養摂取目標量	850	28.0	25.98	420.0	4.0	210	0.60	0.60	33
中学校平均摂取栄養量	831	31.6	25.8	393	3.8	303	0.76	0.67	34

※小学校4校、中学校2校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	大平学校給食 センター	大平東小	318	13	栄養職員1 栄養教諭1	委託	鉄骨造	989
		大平南小	354	14				
		大平西小	366	14				
		大平中央小	703	23				
		大平中	347	13				
		大平南中	477	17				
計	1調理場	6校	2,565	94	2			

ウ 各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施 人員	1 学期		2 学期		3 学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
大平東小	342	70	23,763	77	25,586	49	16,643	196	65,992
大平南小	743	70	26,210	76	36,604	49	18,073	195	80,887
大平西小	380	70	27,121	77	29,331	49	18,993	196	75,445
大平中央小	391	69	50,899	78	56,721	48	35,434	195	143,054
大平中	512	68	24,939	76	28,233	49	17,455	193	70,627
大平南中	379	68	34,053	76	38,555	49	23,404	193	96,012
センター	22	70	1,561	78	1,783	50	1,187	198	4,531
合計	2,769	—	188,546	—	216,813	—	131,189	—	536,548

(3) 藤岡地域

ア 学校給食栄養摂取状況

小学校は、ほぼ目標を満たしているが、中学校のエネルギーとカルシウムが不足している。今後不足しないよう献立を作成する際に十分考慮する。

区 分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂 肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	660	20.0	22.0	350.0	3.0	140	0.40	0.50	23
小学校平均摂取栄養量	624	25.8	21	352	2.9	215	0.56	0.58	33
中学校栄養摂取目標量	850	28.0	25.98	420.0	4.0	210	0.60	0.60	33
中学校平均摂取栄養量	776	31.4	24.9	390	3.7	254	0.66	0.66	39

※小学校4校、中学校2校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況 (5月1日現在)

番号	共同調理場名	供 給 学 校			調理従事者(人)		施 設 構 造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	藤岡学校給食 センター	藤 岡 小	260	9	栄養職員2 (1)	11 (9)	鉄骨造	961
		部 屋 小	144	6				
		赤 麻 小	185	6				
		三 鴨 小	198	7				
		藤岡第一中	303	10				
		藤岡第二中	70	3				
計	1 調理場	6 校	1,160	41	2(1)	11(9)		

※()は臨時職員の内数

ウ 各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施 人員	1 学期		2 学期		3 学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
藤岡小	282	69	19,440	78	21,370	49	13,561	196	54,371
部屋小	159	70	11,051	76	11,864	49	7,778	195	30,693
赤麻小	203	70	14,173	77	15,132	49	9,956	196	39,261
三鴨小	217	70	15,054	76	16,305	49	10,529	195	41,888
藤岡第一中	330	68	21,813	77	24,792	48	14,649	193	61,254
藤岡第二中	85	69	5,844	76	6,511	49	3,989	194	16,344
センター	16	70	1,117	78	1,258	50	800	198	3,175
合計	1,292	—	88,492	—	97,232	—	61,262	—	246,986

(4) 都賀地域

ア 学校給食栄養摂取状況

今後とも、児童生徒の健康状態を考慮しながら、献立を作成し、対象児童生徒にとって望ましい栄養量の摂取ができるように努めたい。

区 分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂 肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	660	20.0	22.0	350.0	3.0	140	0.40	0.50	23
小学校平均摂取栄養量	687	26.5	22.6	337	2.5	370	0.73	0.57	33
中学校栄養摂取目標量	850	28.0	25.98	420.0	4.0	210	0.60	0.60	33
中学校平均摂取栄養量	841	31.7	26.2	362	3.1	450	0.95	0.63	40

※小学校3校、中学校1校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供 給 学 校			調理従事者(人)		施 設 構 造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	都賀学校給食 センター	合戦場小	344	12	栄養職員2 (1)	委託	鉄骨造	1046
		家中小	217	8				
		赤津小	162	6				
		都賀中	349	11				
計	1調理場	4校	1072	37	2(1)			

※()は臨時職員の内数

ウ 各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施 人員	1 学期		2 学期		3 学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
合戦場小	371	69	25,518	77	28,302	49	18,341	195	72,161
家中小	218	69	16,313	77	17,875	49	11,591	195	45,779
赤津小	179	70	12,408	76	13,394	49	8,709	195	34,511

都賀中	378	67	24,763	78	28,830	49	17,035	194	70,628
センター	18	70	1,273	79	1,750	50	867	199	3,890
合計	1,164	—	80,275	—	90,151	—	56,543	—	226,969

(5) 西方地域

ア 学校給食栄養摂取状況

小学校は、ほぼ目標を満たしているが、中学校で、カルシウムが不足している。
これらの点に十分考慮し、引き続き基準量の摂取に努めたい。

区分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	660	20.0	22.0	350.0	3.0	140	0.40	0.50	23
小学校平均摂取栄養量	669	25.0	21.0	355	3.3	180	0.65	0.60	36
中学校栄養摂取目標量	850	28.0	25.98	420.0	4.0	210	0.60	0.60	33
中学校平均摂取栄養量	839	31.9	26.0	396	4.1	230	0.82	0.70	44

※小学校2校、中学校1校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	西方小学校給食共同調理場	西方小	301	13	栄養教諭1	委託	鉄骨造	569
		真名子小	56	6				
		西方中	188	7				
計	1調理場	3校	545	26	1			

ウ 各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施 人員	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
西方小	337	69	23,253	76	25,259	49	16,513	194	65,025
真名子小	71	69	4,899	77	5,387	49	3,479	195	13,765
西方中	206	70	14,420	76	15,651	49	10,094	195	40,165
合計	614	—	42,572	—	46,297	—	30,086	—	118,955

(6) 共同調理場運営協議会の開催

共同調理場運営協議会

- ・開催日 2月22日（金）
- ・場所 国府公民館
- ・参加者 委員ほか 23人

(7) 食育研究会の開催

栃木市食育研究会（献立作成会議）

- ・開催日 4月24日（火）、5月18日（金）、7月5日（木）、8月2日（木）、9月20

日（木）、10月15日（月）、12月11日（火）、2月8日（金）、3月5日（火）
計9回

- ・場 所 吹上公民館
- ・参加者 栄養教諭・学校栄養職員

(8) 学校給食関係職員研修事業

NO	期 日	事 業 名	場 所	参加者（人）
1	5月14日（月）	給食主任・栄養教諭等研修会	国府公民館	給食主任ほか 50
2	7月23日（月）	学校給食調理員研修会（衛生講話・調理実習）	大平健康福祉センター	調理員ほか 30
3	7月24日（火）	学校給食調理員研修会（視察研修）	群馬県富岡市	調理員ほか 30
4	8月10日（金）	給食主任・栄養教諭等研修会	大平公民館	給食主任ほか 50
5	1月24日（木）	給食主任・栄養教諭等研修会	〃	給食主任ほか 50
6	3月25日（月）	学校給食調理員研修会（衛生講話、調理場見学）	栃木中央小	調理員ほか 16

【別表1】学校課題・研究主題一覧表

学校名	研究主任名	学校課題・研究主題	教科等	備考
栃木中央小	山田 治子	かかわり合いの中で、自ら学ぶ子供の育成 ～かかわり合い 学び合い 自ら考える力を育てる授業の工夫～	国算社理（生・総）特別支援	市指定 環境教育推進学校 市指定 姉妹校化推進学校
栃木第三小	生澤 通孝	「学び合う児童の育成」 ～考えを認め合い、学び合う学習指導法の工夫～	全教科 全領域	市指定 人権教育研究学校
栃木第四小	関口 睦	自分の思いや考えを互いに伝え合える子どもの育成 —豊かな思考力・表現力を育む学習指導の在り方—	生活科 理科	
栃木第五小	服部 雅弘	自ら学び考え、生き生きと表現し合える児童の育成 ～「活用」の学習をとおした、読解力・表現力の育成を目指して～	全教科 全領域	市指定 姉妹校化推進学校
南小	江連 昌子	一人一人を生かし、「伝え合う力」を高める指導法の研究 —豊かな表現力の育成をめざして—	国語科	
大宮南小	石川 幸子	生き生きと伝え合うコミュニケーション能力の育成 ～かかわり合い、学び合う授業を通して～	全教科 全領域	市指定 外国語教育推進学校
大宮北小	星野 全代	国際社会にたくましく生きる栃木っ子の育成を目指して —主体的なコミュニケーション活動を通して—	外国語活動 (英語)	市指定 外国語教育推進学校
皆川城東小	高木 紀之	豊かな人間性と的確なコミュニケーション能力の育成を目的とした、小 中一貫教育の教育課程の編成の在り方について（継続：第8年次） —言語活動の充実を中核とした「生きる力」の育成を視野に—	全教科及び総合的な学習の時間 (ことのは、生き方) 外国語活動	市指定 小中一貫教育研究学校
吹上小	谷津 弘美	思考力・判断力・表現力をはぐくむ言語活動の工夫 ～自分の考えをもち、生き生きと伝え合える子どもの育成を目指して～	国語科	
千塚小	神澤 久美子	言葉の力を高め、思いを伝え合える児童の育成	国語科	市指定

		～聴き合い、学び合う授業を目指して～	全領域（国・算 を中心）	放課後教室研究学校
寺尾中央小	関根 文代	生き生きと表現し、学び合う児童の育成 ～各教科等における言語活動を重視した授業展開の工夫～	各教科 全地域	市指定 姉妹校化推進学校
寺尾南小	稲葉 かおる	自分の思いや考えを生き生きと伝え合えることができる子どもの育成	全教科	市指定 姉妹校化推進学校
国府南小	小倉 友里恵	共にたくましく生きる国府南っ子の育成を目指して ～主体的なコミュニケーション活動を通して～	全教科	市指定 外国語教育推進学校
国府北小	亀田 浩貴	自ら学び、自分の考えを表現できる児童の育成 ～算数科における言語活動の充実を目指して～	算数科	市指定 外国語教育推進学校 市指定 セカンドステップ研究校
大平東小	竹之内 敬子	ともに学び、考えを深め、互いに高め合おうとする子どもの育成 ～伝え合う場の設定の工夫を通して～	国語科 算数科	市指定 学力向上研究学校
大平南小	田上 茂喜	「学び考える意欲を高めるための算数的な思考力や表現力の育成」 ～基礎・基本の定着をふまえた算数的活動の工夫～（2年次）	算数科	市指定 姉妹校化推進学校 市指定 放課後補習教室研究学校
大平西小	小林 澄江	自分の思いや考えを表現できる児童の育成 ～言語能力の習得とその活用を図って～	全教科領域 （国語科中心）	市指定 学力向上研究学校
大平中央小	井上 敦	自ら考え、友達とかかわりながら共に学び合う授業創り ～国語科・算数科を中心に言語活動を通して～	算数科	
部屋小	杉森 貴子	思考力・表現力を高める指導と評価の工夫	国・算・社・理	市指定 姉妹校化推進学校

藤岡小	勝井 英之	考える力を高める指導の工夫 ～算数科における豊かな言語活動を通して～	算数科	
赤麻小	青木 恭子	自分の思いや考えを、自分の言葉で表現する児童の育成 ～言語活動の充実をとおして～	国語科	市指定 放課後教室研究学校
三鴨小	青山 桂子	言葉の力を高め、思いを伝え合う児童の育成 ～国語科の授業実践を通して～	算数科	市指定 放課後教室研究学校
合戦場小	琴寄 とも子	自分の思いや考えを表現できる子どもの育成 ～深め合い、高め合う学習集団を目指して～	全教科 全領域	
家中小	柳 裕司	自ら学び生き生きと活動できる児童の育成 ～言語活動の充実をめざして～	国語科	
赤津小	斎藤 有子	「伝え合う力を高める授業づくり」 ～児童の言語活動の充実を通して～	国・社・算・理 ・生	市指定 放課後教室研究学校
西方小	飯塚 圭子	「正しく読み取ることができる子ども」の育成 ～国語科における説明的な文章を読み取る学び方の指導について～	国語科	
真名子小	橋本 圭子	人とつながり、たくましく生きる真名子っ子の育成を目指して ～外国語活動における主体的なコミュニケーション活動を通して～	外国語活動	
栃木東中	湯本 康弘	「学び合う力を高める言語活動の工夫」	全教科	市指定 人権教育研究学校
栃木西中	古橋 奈美	言語活動を充実させ、コミュニケーション力を高める学習指導のあり方	全教科	市指定 姉妹校化推進学校
栃木南中	江田 訓子	学ぶ意欲を高める指導法の工夫 —学ぶ楽しさ・充実感を実感できる授業を目指して—	全教科 全領域	
東陽中	大島 正悟	主体性と協調性をもって、自分の未来を拓く生徒の育成 ～個が伸びる共同学習の在り方を求めて～	全教科 全領域	市指定 外国語教育推進学校
皆川中	新糴 勇一	豊かな人間性と的確なコミュニケーション能力の育成を目的とした、小	全教科及び総合	市指定

		中一貫教育の教育課程の編成の在り方について（継続：第8年次） 一言語活動の充実を中核とした「生きる力」の育成を視野に—	的な学習の時間 (生き方系列・ことのは系列)	
吹上中	齊藤 雄輔	言語活動の充実に向けた指導方法について ～自己の考えを積極的に伝え合える生徒を目指して～	各教科	
寺尾中	鈴木 久雄	確かな学力の育成を目指した指導法の工夫・改善 ～言語活動の充実を通じた学び合う関係づくりを中心に～	全教科 全領域	市指定 姉妹校化推進学校
大平中	山田 恒夫	「基礎的・基本的な内容の定着を図るための指導法の工夫」 ～学習の約束の徹底と意欲的に取り組ませるための工夫～	全教科	市指定 学力向上研究学校
大平南中	茂呂 公夫	「表現力を高める指導と評価の工夫」 ～聴く力を高め、自分の考えを表現できる生徒の育成をめざして～	全教科 全領域	市指定 姉妹校化推進学校
藤岡第一中	櫻井 誉	「確かな学力を育む指導法の工夫」 ～言語活動や学び合い活動の充実を目指して～	全教科	
藤岡第二中	田中 範和	確かな学力の向上を図るための指導法の工夫 ～思考力・判断力・表現力の育成を目指して～	全教科 (美・技・家除く)	市指定 姉妹校化推進学校
都賀中	有澤 弘登	共に高め合い、主体的に学習に取り組む生徒の育成 —基礎基本の習得により、確かな学力を身に付けさせる指導及び評価の工夫—	全教科 全領域	
西方中	井寺 聡	確かな学力を付ける学習指導の工夫・改善 —学びあい・高めあい・認めあい・励ましあう授業の実践—	全教科	

※表記については、各学校から報告された文言で示してある。